

(6) 空港ビル機能向上、情報発信機能強化

■ 計画

項目	内容	実施主体
公衆無線 LAN の設置	オホーツク紋別空港ビル内に公衆無線 LAN (Wi-Fi) 機能を整備	・オホーツク紋別空港ビル
情報モニターの設置・運用	空港ビル内に運航情報や連絡バス等の運行情報、観光案内などを放映するモニターを設置、併せて放映するソフト等を作成（ソフトの作成は、前記のテレビ番組の映像等を使用）	・紋別市 ・紋別観光協会 ・広告会社 ・オホーツク紋別空港ビル

① 公衆無線 LAN 整備

■ 平成 26 年度及び平成 27 年度の実施状況

空港ビル会社が公衆無線 LAN を整備し、利用者の利便性向上や待ち時間の有効活用を図った。

② 空港の情報機能強化

■ 平成 26 年度実施状況

活性化プログラムにおいて、空港の情報機能を強化するために、デジタルサイネージをリースにて設置した。

■ 平成 27 年度実施状況

デジタルサイネージの情報に紋別及び道内の地域情報も加えるなど、活性化を試みた。

有効活用にかかる調査等は未実施である。

■ 平成 28 年度実施状況

- ・ Wi-Fi 整備（空港ビル事業）
- ・ デジタルサイネージ
- ・ ビジネスデスク（チャージデスク）

28 年度はビジネスデスクの設置運営を行う。

空港自体が狭く、設置場所の選定に時間を要したが、スペースを確保することで、充電・作業スペースを確保することができた。

利便性が向上（Wi-Fi との連動）に加え、手狭な空港内でさらに 1F に待合客が集中するのを一部ではあるが、2F に流すことができ、若干ではあるが混雑緩和にもつなげることができた。